

町村議会議長・副議長研修会

平成24年5月29・30日開催 会場:東京メルパルクホール

全国933町村より2,000名が参加

全国町村議会議長会会長の高橋正氏(群馬県榛東村議長)の開会のあいさつで始まり、議会活性化事例を埼玉県嵐山町議長の長島氏の発表後、「今後の町村議会のあり方と自治制度」をテーマにパネルディスカッションが、コーディネーターである中央大学名誉教授の今村氏とパネリストとなった明治、山梨、山形、東海大学各教授5名により繰り広げられた。

討論の中で感じたことは、法改正に頼らない議会改革が必要だということで、全国に今、徐々に広まりつつある「議会基本条例」による改革、その代表例が北海道の栗山町議会のそれである。

先頭を切った栗山町議会では、基本条例において、二元代表制の基本原則が的確に表現され、議会の基本目的と議会・議員の諸活動の原則が明記されている。具体的には、議員同士の討議の徹底、議会と住民との意見交換の場の構築、本会議の場での町(執行部)に対する反問権の付与などなど、町民参加を軸に据え、先進的な議会より徐々に波及しつつある。

2日目は、山形弁研究家のダニエル・カール氏による東日本大震災後の「日米文化比較論」、東京医科歯科大学名誉教授の藤田氏による「議員の健康管理術」の講義を受け、閉会した。

議会改革の波は、国政・経済のうねりに影響されつつも、全国で徐々に新しく展開されている。わが上毛町議会で取り組めるものはないものか、今後十分議員同士で話し合う必要があると強く感じている。 大山晃



第37回町村議会議長・副議長研修会



パネリストの皆さん



築上郡町村議会議長・副議長

豊前市外二町清掃施設組合

(豊前市・吉富町・上毛町とで行う清掃施設「ごみ焼却場等」の組合)



5月22日 平成24年第2回臨時会

豊前市議会の改選後初になる組合議会で、議長等の選挙を行いました。

議長 磯永 優二(豊前) 副議長 大山 晃(上毛)

議会運営委員会 委員長 渡邊 一(豊前) 議会運営委員会 副委員長 花畑 明(吉富)

その後、豊前市外二町清掃施設組合職員の勤務時間、休暇等や育児休業等に関する条例の一部改正を審議し、可決しました。

9月6日 平成24年第3回定例会

(以下の金額表示は千円以下切捨て)

平成23年度決算・認定

歳入総額 6億3352万円

◎ 主な歳入
分担金 4億7900万円
(上毛町分1億407万円)

歳出総額 6億380万円

◎ 主な歳出
清掃費 3億4592万円
(人件費・光熱費等の焼却場運営費)

平成24年度補正予算・可決

歳入歳出それぞれ160万円追加し、予算の総額を5億4462万円とする

●補正内容 10月～3月の間、臨時雇用のための費用計上

吉富町外一町環境衛生事務組合

決算報告

8月29日、吉富町外一町環境衛生事務組合の平成23年度歳入歳出決算認定議会が開催され、全会一致で可決しました。

平成23年度の歳入・歳出の主なものとして、歳入では分担金・負担金、手数料及び使用料などで、歳出はし尿処理・火葬管理費(人件費・物件費)などです。なお、し尿処理施設建設基金への積み立ても行っています。

歳入総額 8609万円

◎ 主な歳入
分担金 7422万円(上毛町分3929万円)
使用料 528万円(火葬料及びし尿処理料)

歳出総額 7678万円

◎ 主な歳出
し尿管理費 4381万円
火葬管理費 1301万円
積立金 499万円

専決処分の承認 補正予算(専決第1号)を承認しました。

●承認内容 吉富町では平成22年度から、メンタル不全などで病気休暇・休職する職員が増加(延5名)、その対応として、職員援助プログラムを導入し、その後当該組合に導入する。